

T-SUB

マニュアル 1.1 ip

機器に表示されているマーク



操作マニュアルの情報を参照してください。

WARNING!
高電圧危険!

目次

安全上の注意	3
ラウドスピーカーを使用する際の説明.....	3
T-SUB	4
Tシリーズ リギングコンポーネントとアレイ.....	4
接続.....	5
使用.....	5
技術仕様.....	6
製造者宣言	7
ラウドスピーカーの EU 適合性 (CE マークについて)	7
WEEE 宣言 (廃棄について)	7

概説

T-SUB マニュアル

バージョン 1.1 jp, 03/2016, D2601.JP .01

Copyright © by d&b audiotechnik GmbH 2016; all rights reserved.

本マニュアルは製品と共に保管するか、常に参照できる安全な場所に保管してください。

本製品を再販される場合には、製品と共に本マニュアルを販売先にお渡しください。

d&b 製品を販売される時は、お客様に対して本マニュアルを使用前に十分読んでおくことを喚起してください。必要なマニュアルは製品に同梱されています。もし追加のマニュアルが必要な場合には、d&b に注文してください。

d&b audiotechnik GmbH
Eugen-Adolf-Strasse 134, D-71522 Backnang, Germany
Telephone +49-7191-9669-0, Fax +49-7191-95 00 00
E-mail: docadmin@dbaudio.com, Internet: www.dbaudio.com



警告!

ラウドスピーカーを使用する際の説明

大音量で駆動しているラウドスピーカーのすぐそばには決して近寄らないでください。業務用ラウドスピーカーシステムは、人間の健康に害を及ぼす音圧レベルとなる可能性があります。危険でないと思われる音量（約 95 dB の音圧レベルから）であっても、長期間さらされていると難聴の原因となる恐れがあります。

ラウドスピーカーを地面に配置するか、吊り下げている時の事故を防ぐため、以下の事項に注意してください：

ラウドスピーカーまたはラウドスピーカースタンドのセットアップは、必ず堅い床面で行います。複数のシステムを積み重ねる場合は、動かないようにストラップで固定してください。

組立てや移動式配置のためのアクセサリは、d&b でテストされ承認されたもののみを使用します。特に弊社「組立の説明書」または「フライングシステムおよびリギングマニュアル」に詳細が記載されているようアクセサリの正しい使用法および最大積載量に注意を払ってください。

すべての追加ハードウェア、据付または移動配置用の固定および留め具が適切なサイズであることと安全積載係数を確かめます。ご使用になる製品の各メーカーの取扱指示書および関連の安全ガイドラインを確認してください。

ラウドスピーカーの外観やアクセサリは、目につく磨耗や破損の兆候がないかを定期的に点検し、必要であれば交換してください。

定期的に、取付装置の全ての荷重支持ボルトを点検してください。

注意!

ラウドスピーカーには、接続されていない場合や、使用されていない場合でも静的電磁場が発生しています。従ってラウドスピーカーを組立てたり、移動したりするときは、外部の磁場により欠陥や損傷の生じるおそれのあるものが、装置や器物の近くにはないことを確認します。一般的には磁気データ媒体（フロッピーディスク、オーディオおよびビデオテープ、キャッシュカードなど）から 0.5 m (1.5 ft) の間隔があれば十分です。コンピューターやビデオモニターでは、1 m (3 ft) 以上の間隔が必要な場合もあります。

T-SUB

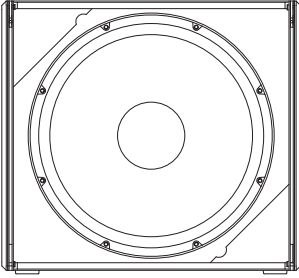


図 1: T-SUB ラウドスピーカー

T-SUB は、T シリーズ用のサブウーファーです。フライング、スタックのどちらでも様々な組み合わせで T10 キャビネットを補完して使用できます。T-SUB キャビネットは、アクティブ駆動のパスレフレックス設計で、高偏位の 15 インチドライバーを搭載しており、周波数特性は 47 Hz から 140 Hz を拡張します。

T-SUB キャビネットは、船舶用合板製で、黒の耐衝撃および耐候性塗装仕上げが施されています。ラウドスピーカーのキャビネットのフロント部は、音響透過性発泡（発砲）フォームの前にある堅い金属性グリルで保護されています。キャビネットのトップパネルにはハンドルが付いています。

T シリーズ リギングコンポーネントとアレイ

キャビネットは、キャビネットのフロント両側のリギングストランドと後部の中央ストランドにより機械的に接続されています。すべての必要なリギングコンポーネントはキャビネットに内蔵されており、必要に応じて収納したり、引き出して使用します。

T シリーズリギングコンポーネントの詳しい説明は、Z5370 T フライングフレームとともに提供される T シリーズリギングマニュアルを参照ください。

T シリーズアレイのプランおよびデザインの詳細な説明は、同じく T フライングフレームとともに提供される「TI 385 Line array design, ArrayCalc」技術文書に記載されています。

アレイカリキュレーター d&b ArrayCalc は、d&b のウェブサイト、www.dbaudio.com からダウンロードできます。

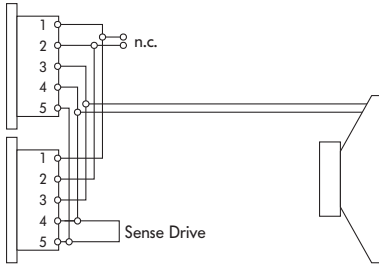


図 2: コネクターの接続

接続

T-SUB のキャビネットには、一対の EP5 コネクターが取り付けられています。双方のコネクターの全 5 本のピンは並列に接続されています。T-SUB は、3/4 と 5 のピン配列を使用します。ピン 5 は SenseDrive に用いられます (D12 アンプと 5 ワイヤークーブル使用の場合のみ)。ピン 1/2 は、d&b フルレンジシステム用に使用されます。オス型コネクターをインプットとして使用すれば、メス型コネクターと追加ラウドスピーカーを直接接続することができます。

T-SUB は、オプションで NL4 コネクターを選択することも可能です。NL4 コネクターを使用している時には、D12 SenseDrive 機能は利用できません。

対応する EP5 のピンおよび NL4 コネクターは下の表に示しています。

EP5	1	2	3	4	5
NL4	1+	1-	2+	2-	なし

使用

注意!

d&b ラウドスピーカーは、正しく設定された d&b アンプのみをご使用ください。他の使用法ではラウドスピーカーのコンポーネントに損害を与える恐れがあります。

使用可能な d&b アンプ:

D80/D20/D12/D6/10D/30D.

用途	セットアップ	チャンネル/キャビネット
T-SUB	T-SUB	2

ここで使用可能なアンプ用としては、Dual Channel および Mix TOP/SUB モードのコントローラー設定が適切です。

コントローラーの設定

100 Hz 回路

100 Hz 回路が選択されている場合には、システムの動作周波数の上限が 140 Hz から 100 Hz に減少されます。

技術仕様

T-SUB システムデータ

周波数特性 (-5 dB 標準)47 Hz ... 140 Hz
周波数特性 (-5 dB 100 Hz モード)47 Hz ... 100 Hz
最大音圧 (シングルキャビネット、1 m、無響音場)	
および D6/10D127 dB
および D80/D20/D12/30D130 dB
(最大 SPL ピーク、テスト信号クレストファクター 4 のピンクノイズ)	

T-SUB ラウドスピーカー

公称インピーダンス8 Ω
許容入力 (RMS / ピーク 10 ms)300/1600 W
コンポーネントネオジウム磁性体型 15 インチドライバー
接続2 x EP5
オプション 2 x NL4
ピン配列EP5: 3/4
NL4: 2+/2-
重量17 kg (37 lb)

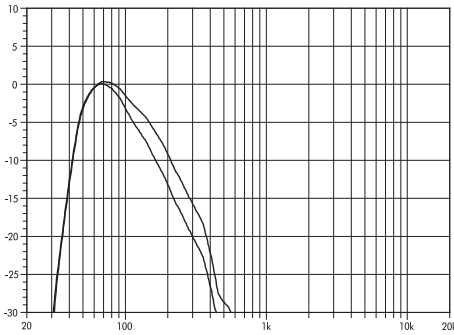


図 3: T-SUB 周波数特性、標準および 100 Hz 設定

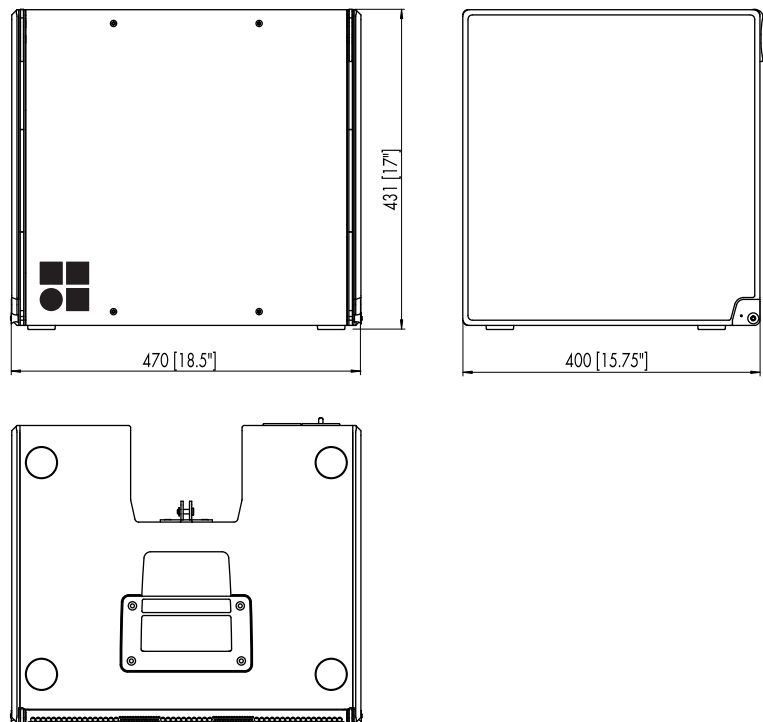


図 4: T-SUB キャビネットの寸法: 単位 mm (インチ)

製造者宣言



ラウドスピーカーの EU 適合性 (CE マークについて)

この宣言は、以下の製品に適用されます。

T-SUB ラウドスピーカー, Z0560

製造者 d&b audiotechnik GmbH.

この番号で始まる製品バージョンの全てが初期仕様に一致していますが、後に設計または電気技術的変更が行われないことを前提としています。

弊社は、本製品が全て関係条項の EC 指令条項に準拠していることを宣言いたします。

この宣言に関わる詳細な情報は、d&b に注文頂くかウェブサイト www.dbaudio.com からダウンロードすることもできます。

WEEE 宣言 (廃棄について)

電気及び電子機器を廃棄する際は、必ず他のゴミと分別してください。
本機器を廃棄する時には、お住まいの国の関連する法律や条例に従ってください。廃棄の際に不明な点がある時は、お買い上げの販売店、または d&b audiotechnik までお問い合わせください。

